

6月10日 基礎講座 アンケート

問い……その他、ご意見・ご感想や取り入れてほしいサービスなど、自由に記入をしてください。

回答

- ・ウラジオストク等の写真を見れたのが、イメージをする助けとなりました。 40代
- ・ウラジヴォストークなどの写真を見ることができたことは とても良かった。
ヘーゲル弁証法に関連して話をいただけたことはとても助かった。館長ご自身の解釈や、感想を聴けることはとても有り難いことである。それによって講座の深みや味わいが出ていると思いました。 40代
- ・吉野作造の論文は現代に通じる出兵論者ではない。と論じつつ、それを片端からくつがえす論法に興味があった。今にかきたい。青年達の思想にも。命大事。 50代
- ・日本人一人一人が日本国史を学び、自分の生活、仕事に活かせば、日本はもっと良くなると感じました。弥栄ありがとうございます。保育士として子ども達、我が子に古事記、日本の歴史、昔ばなしを伝えていきます。 50代
- ・吉野博士の書は難しいものであるから、自分では読めるものではないが、講話も休憩が欲しい。難しい。時間内に納めてほしい。 60代
- ・もう少し時間をかけてやってほしい。
とても勉強になっています。 70代以上

- ・シベリア「出兵」とは、よく言ったものだと思う。「事変」「侵功」などと、言葉のマジックで誤魔化しているけれど、戦争を仕掛けていることには変わりなさそうだ。講座の最初のほうで「独立国をつくる」とあったが、これが日本流の大義名分なのだろうと思った。よく、狩猟民族と農耕民族というふうに例えられるが、欧米人の完全侵略的な植民地政策と、日本人の思う植民地政策はまた認識が違っていたのではないかと思います。どちらかと言うと、満州口と名付けているように、ある程度までは独立した国家と認めた上での植民地であったからこそ、「大東亜共栄圏」という言葉につながっていったのではないかというふうに私は思いました。亜細亜チームで欧米を対峙しましょう。それで、国民を納得させようとしたのでは？ 50代
- ・吉野の論文はむずかしいですが、説明文がついているので、なんとなくわかりました。吉野自身は戦地に行っていないのか、自分の目でみてきているのか、わかりません。 70代以上
- ・一次大戦当時の世界のすうせい(趨勢)がわかる気がする。日本は今日、戦うだけでなく、仲裁にのり出すべきではなかったのかなァ。 70代以上
- ・今日も有難うございました。 70代以上
- ・難しく、盛り沢山で理解がすすまなかった。 70代以上
- ・他県の他の講座と日程が重なっているので、遅れて参加しました。資料だけ戴くこともあります、宜しくお願いします。 70代以上